

写真家・映画監督として活躍する大西暢夫個展

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 地域交流事業

大西暢夫写真展 ここは、わが町



津波に流された町、ダムに沈む村——
ひとりひとり、ひとつひとつの物語。

大西暢夫写真展
ここは、わが町

写真家・映画監督の大西暢夫は約20年にわたり、ダム建設と長い間向かい合ってきた全国の山里を巡り、そこに生きる人たちの住まいや暮らしぶりをカメラに収めてきました。また2011年の東日本大震災以降は、被災地である東北沿岸部を訪れ、その風景の撮影や、人々へのインタビューも続けています。

本展では、大西のライフワークともいえるこれらの仕事を集中的に紹介します。作品には、困難を抱えながらも日常を大切に生きている人々が、表情豊かに写っています。その光景からは、私たちの日常とも重なり合うものを見つけられるかもしれません。

50年後、あなたの「わが町」は、変わらずそこにありますか？

ボーダレス・アート
ミュージアムNO-MA
滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)

2017年 8月5日(土)～27日(日) 月曜休館
11:00～17:00 入場無料

【注】 本展は、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
社会福祉法人グロー（GLOW）と共催の企画です。
【主催】 滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

津波に流された町、ダムに沈む村 ——
ひとりひとり、ひとつひとつの物語。

写真家・映画監督の大西暢夫は約20年にわたり、ダム建設と長い間向かい合ってきた全国の山里を巡り、そこに生きる人たちの住まいや暮らしぶりをカメラに収めてきました。また2011年の東日本大震災以降は、被災地である東北沿岸部を訪れ、その風景の撮影や、人々へのインタビューも続けています。

本展では、大西のライフワークともいえるこれらの仕事を集中的に紹介します。作品には、困難を抱えながらも日常を大切に生きている人々が、表情豊かに写っています。その光景からは、私たちの日常とも重なり合うものを見つけられるかもしれません。

会期:2017年8月5日(土)～8月27日(日)

場所:ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

入場無料

【展覧会の見どころ】

- ・大西氏の写真家としてのライフワークを紹介。
- ・会期初日には大西暢夫監督作品 映画「水になった村」上映&スペシャルトークを開催。

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）
担当：鈴木・山田・渡邊 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2
TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp

**大西 暢夫 Onishi Nobuo (1968- / 写真家、映画監督)**

岐阜県揖斐郡池田町育ち。

東京総合写真専門学校卒業後、写真家／映画監督の本橋成一氏に師事。

1998年にフリーカメラマンに。ボーダレス・アートミュージアムNO-MAでの展示をはじめ、日本国内におけるアール・ブリュットの作品とその作者の取材を多数手がける。

1999年より全国を巡り、ダムに沈んでいく村々の取材を始める。

2011年4月からは東日本大震災の現場取材も始め、岐阜新聞に連載する。また地元の池田町でも取材報告会を継続的に開催している。

著書に『おばあちゃんは木になった』『津波の夜に 3.11 の記憶』『ひとりひとりの人』『ぶた にく』『アウトサイダー・アートの作家たち』など。

展覧会概要

タイトル 「大西暢夫写真展 ここは、わが町」

会 期 2017年8月5日(土)～8月27日(日)

会 場 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上 16)

開 催 時 間 11:00～17:00

休 館 日 月曜日休館

入 館 料 無料

主 催 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

社会福祉法人グロー (GLOW) ～ 生きることが光になる～

後援(予定) 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会

関連企画 8月5日(土) ※会期初日に開催します。

会場：酒游館 (近江八幡市仲屋町 21)

(1) 11:00～13:30**映画「水になった村」上映&スペシャルトーク**

大西が監督をつとめ、2007年に公開されたドキュメンタリー映画「水になった村」を上映します。日本最大規模となった岐阜県徳山ダムの建設過程で、移転地に集落が移ったあとでも最後まで村で暮らしてきた人々の生活を、大西は15年にわたり追いつけてきました。変わりゆく暮らしに寄り添った映像を是非ご覧ください。また、終了後には大西によるスペシャルトークも開催します。

講 師：大西暢夫

定 員：50名(事前予約制 空席がある場合のみ当日も参加を受け付けます)

参加費：1000円

※イベント終了後、映画にちなんだ特製おにぎり弁当 600円を販売いたします。(要事前予約)

(2) 14:30~16:00**まちなかトーク「これからの『わが町』はなる？ できる？」**

日本では今後、長期にわたって人口減少と高齢化が進む社会が訪れることが見込まれます。これによって私たちのライフスタイルも、大きく変わっていくかもしれません。定年が伸び、高齢になっても働く人が増える一方、多くの仕事が人工知能やロボットに代替えられることも予測されています。社会構造が変わる中、私たちは暮らしの大切な部分をどのように守っていけるのでしょうか？ また、一人ひとりの暮らしを大切にできる地域を、今後どのように作っていけるのでしょうか？ アートやデザインの力を活かした地域活性化に取り組む宮本武典東北芸術工科大学准教授、介護保険制度や障害者自立支援法の創設に取り組まれてきた伊原和人年金管理審議官を話し手にお招きし、皆さんと一緒にこれからの「わが町」を考えたいと思います。

講師：伊原和人（厚生労働省 年金管理審議官）

宮本武典（キュレーター／山形ビエンナーレプログラムディレクター／東北芸術工科大学准教授）

大西暢夫

定員：50名（事前予約制 空席がある場合のみ当日も参加を受け付けます）

参加費：無料

広報用画像

①



2003年10月
北海道 夕張シューパロダム建設予定地にて撮影

②



2011年4月
岩手県大船渡市越喜来にて撮影

イベントのご予約・お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA TEL/FAX: 0748-36-5018 <http://www.no-ma.jp/>

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

大西暢夫写真展 ここは、わが町

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

- ① キャプションを必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『 _____ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー
ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日：

御社名： _____ ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____ @ _____
(〒 _____)

ご住所： _____

お電話番号： _____ FAX： _____

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	①2003年10月 北海道 夕張シューパロダム建設予定地にて撮影
<input type="checkbox"/>	②2011年4月 岩手県大船渡市越喜来にて撮影

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：鈴木・山田・渡邊 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp